

安全対策委員会

(2019/4/11 日現在)



安全対策委員会

担当理事
委員長
副委員長
副委員長
福委員長
委員
委員
委員
委員
委員
委員
委員

白石 博基
秋元 洋一
富樫 泰一
鈴木 恵太
田村 一司
上杉 一哲
遠藤 秀明
影山 広美
川内 慎吾
杉田 宏恵
須藤 光春
中島 浩二
米田 幸雄

北海道
茨城県
山形県
長野県
神奈川県
福島県
北海道
新潟県
埼玉県
青森県
岐阜県
兵庫県

■2019 年度安全対策専門委員会議事録

日時:2018 年 11 月 2 日(土)13:00~17:00

場所:渋谷区役所 勤労福祉会館第 3 洋室

出席者:

- ・教育本部担当:白石博基 理事
- ・専門委員:秋元 洋一、富樫 泰一、鈴木 恵太、田村 一司、上杉 一哲、遠藤 秀明、影山 広美、川内 慎吾、杉田 宏恵、須藤 光春、米田 幸雄(順不同)

次第

1. 出席者紹介

- (1)担当理事紹介 白石博基理事
- (2)SAJ 事務局・芹澤さん、古谷さん ご紹介
- (3)専門委員自己紹介

2. 資料確認

3. 開会宣言 秋元洋一委員長

従来はパトロール総会後に専門員会議を行っていたが、今年はシーズン前の会議開催を申請・承認された。また 4 月の教育本部会議で、パトロール総会継続、委員長会議はシーズン前の開催、パトロール受検年齢引き下げについては人の命を担うので従来通り 20 歳以上、SAJ 事業役員派遣の偏りを是正するためブロック間交流を図るよう指示があった。パトロール総会については、開催地域の特色や人材を活かした会議を工夫しながら、ブロック持ち回りで開催していきたい。

4. 担当理事あいさつ 白石博基理事

安全対策委員会は SAJ の組織として、各加盟団体に向けた安全に対する啓蒙活動を積極的に進めていくため、この会議や中央研修会でさらに議論を深めてもらいたい。

5. 審議事項

(1)2019 安全対策部事業について

- ・役員配置について【配付資料 01】に基づき説明・了承が得られた。
- ・スキーパトロール中央研修会について【配付資料 02】に基づき日程・内容等説明した。今年は専門委員会会議が開催できたので、中央研修会では実技研修を充実させる。雪が無くて理論研修になった場合は、秋元委員長が FIPS の話題提供をする。
- ・スキーパトロール技術員研修会について、北海道ブロックはスキー・ボード・パトロール合同で札幌国際にて開催する。北海道教育本部研修会も併催で、北海道安全対策部員も一緒に研修を行う。アキヤ搬送研修の時間がとれない。東北～西日本ブロックは【配付資料 03】のとおり、南関東ブロック会場の長野県・熊の湯で、中央研修会の翌週行う。新人技術員が 8 人いるので、班編制を工夫して研修を行う(10 分間休憩)
- ・検定会(日程, 担当, 内容等の検討)
【受検者 2019 DVD】【教程安全編】を鑑賞し、検定種目の評価の観点等について確認した。
- ・研修会(日程, 担当, 内容等の検討)
【OB2019 DVD】を鑑賞し、研修会テーマについて確認した(10 分間休憩)
- ・パトロール総会(日程, 担当, 内容等の検討)【OB2019 pp.54】
パトロール総会をパトロール研修会と併催し富良野で行う。開催地域の特色や人材を活かし運営する。今後はブロック持ち回りで開催していきたい(秋元)
長野県では索道の協力によりパトロール研修会参加者のリフト券は 1 日千円。リフト券が高く研修会が開催できないなら、他県連も索道に協力を働きかけるべきだ。長野県ではス安対と索道の合同会議は年 2 回ある。他県連では索道との合同会議はない(田村)
同一ブロックからの参加者は研修会扱いで研修会費を徴収し、他ブロックからの参加者は総会参加扱いとし研修会費は無料としてはどうか(影山)
スキーパトロール総会は、スキー安全に関わる関係者の意見交換会の場として、各加盟団体関係者に参加依頼書を SAJ から発信してもらってはどうか(秋元)
スキーパトロール総会の内容やその存続については、委員長会議でも諮り、審議を継続することとなった。

(2)継続審議事項

- ・パトロール受検年齢引き下げについては、理事会の指摘を受けて継続審議とした。

・ボードでのパトロール受検については、各加盟団体や各検定会場で、ボードでの受検方法について具体的に検討を重ね、その結果を持ち寄り、成案をまとめる。ボード委員会からはボードでのパトロール受検要件としてボード1級以上が望ましいとの回答があった(秋元)

検定会として成り立たせるために、同一検定会場・同一検定種目でできる案をまとめた【配付資料04_1】(鈴木)

長野県では県パトロール検定で、ボードでの受検を認め試行する予定。スキー1級とボード1級程度が同一斜面同一種目で同一技術レベルか見極めたい【配付資料04_2】。長野県では5人に1人はボードパトロールで、無資格が多い(田村)

今後の検討課題として、

JSBA ボードパトロールとの関係について、

ボード受検者の検定を誰がするのがベストなのか、

次期教程にボードでのアキヤ搬送技術について触れる

等があげられた。

(3)次年度事業計画案

・22回 FIPS 総会(アルゼンチン・バリローチェ) 2019/9/7-14【配付資料05】

・パトロール専門委員会議 2019/10/20(日)(スキー・ボード・パトロール)

・全国安全対策委員長会議 2019/11/2(土)

・パトロール中央研修会(熊の湯) 2019/11/15-17

・パトロール技術員研修会

北海道 11/22-24, 東北 12/7-8, 関甲信・東海・北陸(北関) 11/29-12/1, 近畿・西 12/7-8

・パトロール検定会(第1:ルズツ, 第2:福井・九頭竜) 2020/3/6-8【配付資料06】

将来的には、ローテーションブロックの見直しを図ってはどうか(鈴木)

(北海道+東北)ブロックと(関東甲信越+東海北陸・近畿・西日本)ブロック

・パトロール研修会・総会(東日本:蔵王? 西日本:東海・北陸ブロックの岐阜か石川?) 2020/3/13-15

有名スキー場の隊長の話を聞いてはどうか(鈴木)

隊長は口下手で話せない。パトロールはもともと地味な仕事。楽しみ系でやれば人が集まるのでは(田村)

隊長会から推薦をしてもらえばどうか。群馬・山形・福島は隊長会がある(杉田)

6. 報告事項

(1)2017-2018 安全対策部事業報告は配付資料のとおり【2017-2018 教育本部報告書】

安全対策部ホームページからもダウンロードできるので利用してほしい。

(2)日本スキー教程安全編正誤表【配付資料07】

教程安全編は2018/11/1 山と溪谷社から発行された。正誤表の一部が未訂正。ロープ種目は改訂版ではないので追加できず、ホームページで補足する。次期教程の構成について皆さんに検討してほしい。

(3)その他

韓国人スキーヤーが遭難し、捜索費用を請求したが払わない。安全対策部として外国人スキーヤー対応について検討すべきではないか。安全対策部の将来の方向性をみんなで検討してほしい(鈴木)

中国人スキーヤーと日本人スキーヤーが衝突し日本人が死亡した。中国人は帰国してしまい連絡がとれていない。今後このような事例が増えるのでは(田村)。

台湾の登山は完全許可制でエリア規制がある(田村)

北海道ではエリア外へ出る場合有料となる(影山)

外国人が絡んだ事故事例を共有し、安全対策部としてできることはなにか検討する必要がある。

7. 閉会宣言 秋元委員長(17:00 閉会)

■2019 年度全国安全対策委員長会議議事録

日時:2018 年 11 月 3 日(土)

10:00~11:30 役員打ち合わせ

13:00~15:30 全国安全対策委員長会議

場所:渋谷区役所 勤労福祉会館第 1 洋室

役員:白石博基, 秋元 洋一, 鈴木 恵太, 田村一司, 富樫 泰一

出席者:各加盟団体安全対策委員長(または代理)

司会:田村一司

次第

1. 出席者紹介

(公財)全日本スキー連盟役員

担当理事:白石博基

安全対策委員長:秋元 洋一

安全対策副委員長:鈴木 恵太, 田村 一司, 富樫 泰一

加盟団体安全対策委員長(または代理)21 名

北海道 安全対策副部長 山村 誠

青森県 安全対策委員長 竹原 伸郎

岩手県 安全対策委員長 高畑 伸也

宮城県 安全対策委員 三神 良太

秋田県 安全対策委員長 高橋 一彰

茨城県 安全対策部長 高瀬 勝則

栃木県 安全対策委員長 新井和夫

群馬県 安全対策部長 森山直温, パトロール委員会委員長 中澤 卓

埼玉県 安全対策副委員長 佐藤 俊寿

千葉県 吉田 浩二

東京都 教育本部安全対策部長 三井 晃一

神奈川県 安全対策委員長 上杉 一哲

山梨県 安全対策委員長代(理事務局次長) 佐藤眞久

長野県 安全対策部長 田村 一司(役員兼務)

石川県 安全対策本部長 吉本 幸司

福井県 安全対策部長 扇浦 行弘

愛知県 安全対策委員長 福岡優子

岐阜県 安全対策部長 内方 陽一

滋賀県 安全対策部長 長尾 卓哉

兵庫県 安全対策部委員会総務 米田 幸雄

広島県 安全対策委員長 平川 朝水

2. 資料確認

資料 01_0:H31 年度全国安全対策委員長会議加盟団体活動報告一覧

資料 01_1:北海道スキー連盟安全対策部(H29-30)報告書

資料 01_2:岐阜県スキー連盟安全対策部事業報告

資料 01_3:2018 年度スキー場傷害報告書(公益財団法人北海道スキー連盟教育本部安全対策部)

資料 01_4:平成 30 年度山形県スキー傷害取り扱い件数及び内訳

資料 02:2019 加盟団体主管スキーパトロール研修会一覧

資料 03:公認スキーパトロール検定スノーボード受検の取り扱いについて(案)

資料 04:2018 年度全国安全対策委員長会議議事録

資料 05:第 23 回雪上滑走具関係団体との意見交換会議事録

3. 開会宣言 秋元洋一委員長

4. 白石博基担当理事あいさつ

東京都スキー連盟教育本部長として長年スキー指導に携わってきたが、安全対策とは接点がなかった。しかし、スキー事故やケガに対するトラブルが多く聞かれる時代になってきているので、スキー受講者・指導者に対する安全啓蒙活動等を推し進め、この安全対策委員会が全国に誇れる組織となれるよう、各都道府県連の皆様と協力してもらいたい。

5. 審議事項

(1) 2019SAJ 教育本部安全対策部事業要項【OB2019 pp.48-54】

昨年度の事業運営に協力いただきありがとうございました。

全国安全対策委員長会議は、過去 2 シーズン全国スキーパトロール総会中に開催してきたが、シーズン前での開催希望が多かったためこの時期に移した。次年度も同じ時期に開催したい。

今年は役員改選期なので、各ブロックのパトロール技術員相互の交流が図れるよう、本州(東北から西日本ブロック)のパトロール技術員研修会を 1 会場で行う。次年度は各ブロック開催とする。

昨年度のパトロール検定会は、北海道で行われていた技選と日程がかぶらないよう 2 月中旬に行われたが、今シーズンは 3 月 2 週に戻した。

全国スキーパトロール総会を 3 月中旬に北海道・富良野スキー場で行うが、各加盟団体宛に通知書を送るので多くの参加を希望する。次年度以降は他ブロックで順次開催し、各地域の雪上安全に関わる他団体との交流を図るような行事としたい。

スキーパトロール研修会(西日本会場)は、鳥取県・だいせんホワイトリゾートで行われるが、近畿・西日本ブロックは加盟団体主管のパトロール研修会が開催しにくいので SAJ 開催とした。【秋元】

(2) 2019SAJ 教育本部安全対策部研修テーマ【OB2019 pp.94-99, DVD】

ここ数年スキーパトロールに必要なスキー技術である「横滑り」について研修テーマとしてきたが、今シーズンは横滑りと横滑りをつなぐ切り換え動作に着目し、高い姿勢での切り換えおよび低い姿勢での切り換えを研修テーマとした。切り換えを成功させるには余裕を持つことが大切で、その練習方法を DVD で紹介した。【鈴木】

(3) 2019 加盟団体主管パトロール研修会一覧【資料 02】

各地域の実情に合い、かつ特色を持った研修会を実施してもらいたい。【田村】

・石川県スキー連盟吉本本部長より、研修会開催時期が早く他県連に通知する時間的余裕がなかった所以他県連参加不可とし、研修内容は、JPTEC ファーストレスポンスコースを全員受講し高エネルギー外傷に対する処置方法を学び、教程に基づいたロープワークに加えて、ロープ降下・引き上げ訓練を実施した旨、説明があった。

・今シーズン初めて加盟団体主管の研修会を開催する栃木県・新井安全対策委員長より、ハンターマウンテン以外ではできないような研修会の開催を検討している旨、説明があった。

(4) パトロール受検年齢引き下げについて

パトロール受検者増を図るため、準指導員受検年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられたこと、プライズテストの受検年齢制限が撤廃されたことを受けて、パトロール受検年齢の引き下げ(20 歳から 18 歳へ)を、5 月の教育本部会議に提案し本部理事会で検討されたが、スキーパトロールはスキーヤーの人命に関わる重い責任を負う可能性があるため、従来通り 20 歳以上とするよう理事会から答申があった。

【秋元】

(5) ボードパトロール検定について【資料 03】

昨年より、スノーボードによるパトロール受検の方法を検討し理事会に諮ったが、より綿密な検定制度を検討するよう回答があった。来シーズンの検定実施を目指して検討を続けているが、長野県では先行して県パト検定を行う予定である。【秋元】

過去にスキー以外でのパト受検の問い合わせがあったが、テレマークで受検し合格した者はいる。ボード受検を認めることで、受検者増を図れるのではないかと。従来のパトロール検定と同じ種目、同じ斜面でできるよう、配付資料のような種目設定とした。【鈴木】

今シーズンの長野県パトロール検定は1月8日～10日、志賀高原でボードでの受検も可として実施する。長野県パトの受検者は20～30人いて、その中に普段はボードをはいているのに、受検の時だけスキーの練習をして受検する者が数人いる。SAJのパトロール受検者は2～3人しかいない。長野県の索道協会の調査によると、5人に1人はボードパトロールで、有資格者はごく一部である。ボードでの検定種目について他に案があれば提案願いたい。パトロール技術員(ボードの有資格者もいるが)が検定を行うが、スノーボーダーを見慣れているので技術の優劣は分かるし、ボードによる搬送技術はなおさらである。長野県内の現職パトロールの有資格者率は半分。【田村】

・スキー場で活動しているパトロールの有資格率はかなり低いのでは。栃木県内では2割程度。ちなみにハンターの隊長はボーダーでパトロール資格は無い。索道あるいはSAJから何か手を打てないか。【栃木県・新井】

・スキースクールでも同じような問題がある。スキー修学旅行のインストラクターのなかには、指導員はおろか級も持っていないのが多い。SAJから資格を持たない者は指導するなど指示があり、その対策として認定指導員制度を作ったところ、一年で1900人も受検した。【田村】

(6) その他の審議事項

・昨年のパトロール合格者は50弱と減少しているが、全国のスキー場の数はそんなに減っていない。パトロール活動を行うための資格に関する法整備(関係省庁は国土交通省、観光庁、スポーツ庁、厚生労働省など)が必要だろう。【田村】

・全国スキー安全対策協議会(ス安対)はSAJからも役員を派遣している団体で、FIS10ルールポスターの配布やスキー場標識の統一、スキー場管理区域の問題、スキー場傷害調査等、外国人スキーヤー対応等、雪上安全に関わる活動を精力的に展開しているので今後も連携を密にしたい。パトロール養成講習の担当者は専門委員(安全対策部)かパトロール技術員でなければならないと規程に謳っているが、有資格者がいない県連は近隣県連と連携し、養成講習をやってもらいたい。【秋元】

・長野県で、日本人一般スキーヤーに外国人スキーヤーが衝突して、日本人スキーヤーが死亡したが、外国人スキーヤーが旅費の関係で帰国してしまった。賠償責任等の問題が発生するので苦慮している。【田村】

6. 報告事項

(1) 各加盟団体報告【資料 01_0】

【北海道・山村 誠】追加資料として「スキー場傷害調査報告書(資料 01_1)」北海道内96スキー場に調査依頼し、協力のあった44スキー場の調査結果をまとめたものを、各スキー場に配布しリスクマネージメント等に活用してもらっている。北海道では全国スキーパトロール総会・スキーパトロール研修会(東日本会場)が富良野スキー場で開催されるので多くの参加をお待ちしている。

【青森県・竹原 伸郎】ロープポートを用いた研修を行っている。春山訓練では、草津スキー場の噴火事故等について理論研修、八甲田ツアーを行った。今シーズンも行う予定。

【岩手県・高畑 伸也】義務研修が3年から2年に1回となり、リハビリ・テーピング等の研修を行う。

【秋田県・高橋 一彰】パトロール研修会は指導者研修会と併催で同時受講者もいるので、パトロールも絡めて講習したい。

【茨城県・高瀬 勝則】指導者研修会で指導者に救急パック携行を義務づけ、指導者研修会参加者全員に雪上救急法実技講習を実施し、事故防止啓蒙活動を継続している。

【栃木県・新井和夫】今シーズン初めて県連主管パトロール研修会を茨城県と合同開催する。栃木県の有資格者は50名弱で、そのほとんどが資格停止状態なので、有資格者の掘り起こしをしたい。

【群馬県・森山直温, 中澤 卓】県3エリア合同のパトロール隊長会議で情報交換をしている。草津白根山噴火により、電線が切れリフトは止まる電気が点かない、火山灰でスキーが滑らない、なんとかモービルが動かせる状況下で、噴火後1時間弱ですべての救助を終了できた。グレンデ内全旅客の避難完了を確認したことが評価された。山頂駅舎に取り残された80名の旅客を夕方6時までにはすべて下山させることができた。普段の訓練により救助できたと思う。

【埼玉県・佐藤 俊寿】安全対策委員会の体制に変更があった。昨年度の不合格者は再受検する。養成講習のアキヤ搬送練習場所の確保が難しい。

【千葉県・吉田 浩二】千葉県連に安全対策委員会は無い。

【東京都・三井 晃一】資料に追加で、指導者養成講習会に理論講師を派遣した。安全対策講習会の参加者が年々減少しているため、増やす方法を検討している。

【神奈川県・上杉 一哲】事故防止の啓蒙活動に取り組んでいる。昨シーズンからニュースタイル委員会ができ、バックカントリーの安全対策に取り組んでいる。2年続けて不合格者が出ているため、養成講習をしっかりとやる。

【山梨県・佐藤 真久】舟久保委員長の代理出席。今後県連主管のパトロール研修会を実施する方向で検討する。

【長野県・田村 一司】資料の通り。

【石川県・吉本 幸司】JPTEC ファーストレスポnderコースを初めて開催できた。重大スキー事故のほとんどが高エネルギー外傷となるため、ネックカラー装着とバックボード固定は必須技術といえる。各スキー場でのビーコンの導入を進めている。

【福井県・扇浦 行弘】SAJ パトロール研修会(西日本会場)の参加にお礼を申し上げる。パトロールの高齢化が進んでいるため対策を立てたい。ボードパトロールも増やしたい。

【愛知県・福岡 優子】県内唯一のスキー場にパトロールを派遣している。有資格者は多いが資格停止が多いので研修会参加を促したい。ザイル・三角巾の復習会を開催し、技術を忘れないようにしたい。

【岐阜県・内方 陽一】県パト検定はロープポートで実施している。有資格者140名中、有効39名しかない。今年初めて県連主管研修会を平湯温泉で開催する。東海北陸ブロックの養成講習は富山県で実施する。

【滋賀県・長尾 卓哉】スノーボードパトロールの養成を検討している。県内に6スキー場ありインバウンドも増えている。横のつながりを大切にし対策を立てたい。

【広島県・平川 朝水】ロープ・三角巾の強化合宿を行い、検定種目の他ロープレスキューについても研修した。

【兵庫県・米田 幸雄】準指導員・指導員の養成講習理論講師を派遣した。ブロック合同パトロール養成講習を行った。スキー場傷害調査を実施した。

【宮城県・三神 良太】例年通り事業を行った。指導者研修会の中で、スクール事故をきっかけとして安全対策志向別班を初めて設けた。これをきっかけとしてパトロール受検者が増えることを期待している。

・スキーのケガによる PTSD から不登校になった子どもが、スキースクール保険の支払い対象となった事例がある【田村】

(2)2018 安全対策部事業報告は、2017-2018 教育本部報告書に記載されているが、安全対策部ホームページにもアップしているため利用されたい。【田村】

(3)2018 全国安全対策委員長会議議事録【配付資料 04】は、安全対策部ホームページにアップしているためそちらも利用されたい。【田村】

(4)第 23 回雪上滑走具関係団体意見交換会【配付資料 05】は、雪上安全に関わる諸団体の意見を参考にされたい。【田村】

(5)その他

・我々スキーパトロールの業務はスキー界だけでなく、医師・弁護士・救急隊・スキー用品メーカー等他団体とも連携しながら仕事を進めなければならない。日本スキーパトロール協議会(JSPA)はSAJの事業に協力しパトロール相互の親睦を図る団体で、パトロール検定会や研修会等で行動を共にしている。愛知県連から参加しているJSPA 広報担当の福岡優子さんより報告をお願いします。【田村】

・今年は2018/9/1-2に岩手県平泉で第47回総会を開催し多くの皆様の参加に感謝申し上げます。次年度は2019/8/31-9/1に北海道定山溪温泉で開催し、余市での観光を予定しているため、多くの参加をお待ちしている。会議後にJSPA 懇親会を予定しているためご参加ください。【福岡優子】

・2017-2018 教育本部報告書が加盟団体宛送付されたが、その中の安全対策部報告書やFIPS報告書は安全対策部ホームページからダウンロードできるのでそちらも利用されたい。SAJ 関連出版物が10月17日に山と溪谷社より発売開始された。スキー教程安全編は正誤表に基づき訂正したものが、

2018年11月1日に山と溪谷社より発行された。スキージャーナル社発行の教程と同じ本であると受検者に説明願いたい。オフィシャルブックは3分冊から1冊となり、従来の規約・規程別刷りはSAJホームページに掲載し、各種申し込み様式はSAJホームページに掲載する。資格検定受検者のためには従来通り出版された。【富樫】

・パトロールが現場で多用するもやい結びや巻き結びを、新しい教程から削除したため多くの方からお叱りを受けた。次期教程にむけてロープ内容は精査する。【田村】

・前教程で取り扱ったロープワークやもやい結びを削除した経緯はホームページで補足説明しているのでそちらを参照してもらいたい。【富樫】

理事講評

初めてこの会議に出席したが、横のつながりがしっかりとれて、良いコミュニケーションができた会議だったと感じた。一致団結して頑張ってもらいたい。【白石】

7. 閉会宣言【鈴木】



■パトロール中央研修会

【会期】	2018年11月16日(金)～18日(日)
【集合】	11月16日(金) 16:00 集合
【会場】	長野県 熊の湯スキー場
【宿舎】	熊の湯ホテル 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町平穏 7148 TEL : 0269-34-2311(代) FAX : 0269-34-3010
【責任者】	岡田 良平
【参加者】	秋元 洋一、富樫 泰一、鈴木 恵太、田村 一司、上杉 一哲、遠藤 秀明、影山 広美、川内 慎吾、杉田 宏恵、須藤 光春、米田 幸雄
【事業の目的】	1. 安全対策部の活動方針・事業内容・規程改正等の周知 2. スキーパトロール技術員研修会・検定会・研修会・養成講習会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修

○1日目

		項目	内容
16:00	-	17:00 会議	本部会議 (1)日程役割分担確認 (2)協議事項 (3)その他

17:00		17:30	開会式	中央研修会（開会式）
17:30		18:00	全体会議	中央研修会（全体会議Ⅰ） 
18:00			夕食	
19:00	-		実技研修Ⅰ 富樫	・検定内容の確認 （１）ロープ （２）救急法（三角巾）

○2日目

			項目	内容
07:00			朝食	
09:00	-	11:00	理論研修Ⅰ	全体デモ  班別研修 
11:00	-	11:30	昼食	
11:30	-	13:00	実技研修Ⅱ 鈴木 田村	基礎種目 ・プルークボーゲン ・横滑り ・片開きプルーク基礎種目2 ・パラレルターン ・総合滑降 

			
			搬送種目 ・アキヤ搬送種目の確認
14:00	17:00	理論研修 Ⅱ 鈴木	・研修テーマの確認 【オフィシャルブック 2019 DVD】
18:00		夕食	
19:00	21:00	会議	各種会議 (1)ブロック会議 (2)その他の会議

○3日目

		項目	内容
07:00		朝食	
09:00	10:00	会議	中央研修会（全体会議） ・各種委員会報告
10:00	10:30	閉会式	次第 ・開式の言葉 ・主催者挨拶 ・諸連絡 ・閉式の言葉
12:00		解散	

【所見】

2日目午前は、スキーマの指導者研修テーマについて、ブロックごとのスキーと安全対策合同グループに分かれて研修した。午後は、パトロール研修テーマの共通理解を図るため、雪上での実技研修を行った。さらに、理論研修では、昨年度の検定会映像を使って、ジャッジの観点を明確にするとともに、パトロール養成講習時に配慮すべきポイントを確認した。以上のことをブロック技術員研修会において、しっかりと伝達していきたい。

来シーズンのパトロール検定会でスノーボードによる受検を実現するために、検定種目および検定方法について、シーズンを通して検討していくことを確認した。また各ブロックでの試行の様子を、映像や画像を記録として残していくこととした。さらに、基礎種目および搬送種目を決定するにあたっては、スノーボード委員会の協力を依頼していくこととした。

短いながらも2日目の雪上研修でパトロール検定基礎種目の確認作業ができ、有意義な研修とすることができた。

■パトロール技術員研修会

□北海道ブロック

【会期】 2018年11月23日（金）～2018年11月25日（日）

【会場】 北海道・札幌国際スキー場

【本部宿舎】 定山溪万世閣ホテルミリオーネ

〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL 011-598-3500

【責任者】 土田 茂

【主任講師】 秋元 洋一

【講師】 影山 広美

【参加者】 北海道ブロックパトロール技術員 男子16名、女子1名 合計17名

【日程及び概要】

11月22日	20:00～21:00	役員打合わせ
11月23日	14:15～15:00	開会式
	15:15～17:00	理論研修Ⅰ（スキー指導者研修テーマの解説）
	20:00～21:00	安全対策部部会Ⅰ（スキーパトロール研修テーマの解説）
11月24日	09:00～14:00	雪上実技研修Ⅰ（スキー技術）
	15:00～16:00	教育本部会議Ⅰ（SAJ報告・SAH報告）
	16:15～18:00	安全対策部部会Ⅱ（スキーパトロール検定会に向けて）
11月25日	09:30～14:20	雪上実技研修Ⅱ（スキーパトロール技術）
	14:30～14:50	閉会式

【所見】 シーズン初めにかかわらず、スキー場関係者の尽力により、整備されたゲレンデコンディションの中、しっかりとした内容で、予定通りに研修することができた。雪上においては、今シーズンのスキーパトロール研修会テーマとスキー指導者研修テーマの交流と確認を図った。また、室内においては、パトロール研修会および養成講習会等における、指導の際に、ポイントとなる部分を確認し、さらに効果的な指導法についての相互交流を図った。また、本研修会を通して、技術の確認と意識の高揚と共有化を図ることができたと評価することができた。



□スキーパトロール技術員研修会要項（東北～西日本ブロック）

【会期】 2018年11月23（金）～11月25日（日）

【会場】 長野県 熊の湯スキー場

【宿舎】 熊の湯ホテル

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町平穏 7148

TEL : 0269-34-2311(代) FAX : 0269-34-3010

- 【主催】 (公財) 全日本スキー連盟 (所管：教育本部安全対策部)
- 【事業の目的】 1. 安全対策部の活動方針・事業内容の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修
- 【役員】 責任者：岡田 良平
主任講師：田村 一司
講師：鈴木恵太，富樫 泰一，川内 慎吾，遠藤 秀明
- 【参加者】 東北～西日本ブロックスキーパトロール技術員 (35人)

班 1	班 2	班長				
1	1	新井 和夫	高橋 一彰*	福士 知史	熊久保勲明	
2		中澤 卓	久保田 稔*	小笠原崇文	馬場 相任	
3	2	保坂 淳司	内方 一*	森山 直温	原野 浩司	
4		山川 正一	清水 哲治*	菅原 健	三井 晃一	内方 陽一
5	3	大月 照治	外山明日香*	高畑 伸也	佐藤 公一	片岡 弘明
6		辺見 秀利	赤坂 宏*	三神 良太	三宅 秀一	平川 朝水
7	4	南 順正	持田功一*	新村 昌宏	青木 政明	
8		前田 初志	帯川友紀子*	太田 和明	石田 英之	

*：新規技術員

【日程】 1日目 11月 23日 (金)

		項目	内容
14:00		役員集合	事業・研修内容打ち合わせ
16:00	- 16:10	仮開会式 富樫 大広間	次第 ・主任挨拶 ・役員紹介 ・技術員紹介 ・日程説明 ・事務連絡その他 (精算, 資料配付)
16:10	18:00	実技研修 1 2h, 富樫 大広間	① ロープ操法・三角巾包帯法 ・三角巾包帯法 (前田) 8班 ・ロープ操法 (南) 8班
18:00		夕食	
19:00	- 21:00	実技研修 2 2h, 富樫 大広間	② 救急法 ・バックボード固定 (青木) 4班 ・GL2015 対応 CPR+AED (平川) 8班





2 日目 11 月 24 日 (土)

		項目	内容
07:00		朝の集い	高橋 一彰・久保田 稔 
07:30		朝食	
09:00	- 09:30	開会式	・南関東ブロック技術員研修会 合同開会式
09:30	11:30	実技研修 3 2h	③ ・基礎種目 (4 班) 田村 一司 2.鈴木恵太 3.川内 慎吾 4.遠藤 秀明 ※無雪時⑦ベルドール 3F 
12:00	-	昼食	高天原 (※無雪時は熊の湯ホテル)
13:00	- 15:00	実技研修 4 2h	④ ・搬送種目 (4 班) 1.田村 一司 2.鈴木恵太 3.川内 慎吾 4.遠藤 秀明 ※無雪時⑤⑥2F エーデルワイス
15:30	- 18:00	理論研修 1 2.5h 2F エーデルワイス	⑤ ・研修テーマ ・事業要項 
18:00		夕食	
19:30	- 21:00	理論研修 2 1.5h , 富樫	⑥ ・2019 役員配置について (配布資料) 2F エーデルワイス

3 日目 11 月 25 日 (日)

		項目	内容
07:00		朝の集い	清水 哲治, 外山 明日香

			
07:30		朝食	
08:30	11:30	実技研修 5 3h, ベルドール 3F 他	<p>⑦ ロープアクセス (富樫) 4 班 課題 1: 要救助者へのアプローチ 課題 2: 引き下ろし 課題 3: 倍力システムを使った引き上げ (ホーリング)</p> 
11:30	- 12:00	閉会式	<p>・南関東ブロック技術員研修会 合同閉会式 リフト乗り場下</p> 

【所見】

今年度は役員改選期なので、東北～西日本ブロック合同で研修会を開催し、本州の技術員全員での検定種目や研修内容のすりあわせを目指した。研修内容は、検定種目であるロープ・三角巾種目の確認、パトロールとして必須救急手技のAEDを用いたCPR、バックボード固定の研修、スキー基礎技術、搬送技術、さらに発展技術としてのロープアクセス・ロープレスキューであった。東北・近畿・西日本ブロックや新人技術員にとって、初めてのロープアクセス・ロープレスキュー訓練であったが、5回目の訓練となるその他の技術員とのチームティーチングによりスムーズな研修ができた。雪が少なく十分なスペースが無かったが、その分検定基礎種目と研修テーマの確認作業を丁寧に行い、全員で共有することができ、所期の目的を達成することができた。最後に、ご協力いただいた、熊の湯スキー場と熊の湯ホテルに感謝し報告いたします。

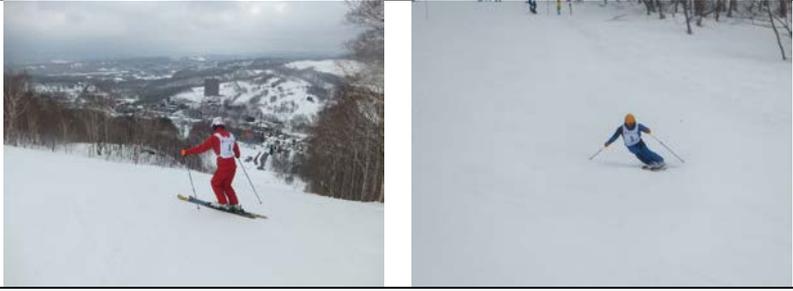
■公認スキーパトロール検定会

○第1会場

- 【会期】 2019年3月8日(金)～10日(日)
- 【会場】 北海道・ルスツリゾート
- 【本部宿舎】 ルスツリゾートホテル
〒048-1711 北海道虻田郡留寿都村字泉川13番地
TEL 0136-46-3331 FAX 0136-46-3229
- 【責任者】 秋元 洋一
- 【主任検定員】 影山 広美
- 【現地総務】 岡部 秀文
- 【検定員】 伊藤彰人, 田中哲雄, 沼澤伯人, 簗 智樹, 遠藤秀明, 上杉一哲
- 【参加状況】 申込者名 17, 受検者 14, 合格者 12, 不合格者 2, 合格率 70.6%

【日程】

第1日目	3月8日(金)
10:00	役員集合・検定会役員会議 (本部宿舎)
15:00～16:00	受検者受付
16:30	開会式 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
17:00～18:30	理論試験
18:30	夕食
第2日目	3月9日(土)
07:00～07:30	朝のつどい 
07:30～08:00	朝食
09:30～11:30	実技テスト (搬送種目) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	実技テスト (基礎種目)

	
16:00～17:30	ロープ操法・救急法オリエンテーション
18:00～19:00	夕食
第3日目	3月10日(日)
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:00～11:00	実技テスト (ロープ操法・救急法テスト)
	
12:00～13:00	閉会式・合格発表・諸手続き
	

【所見】

各加盟団体による養成講習会の成果と努力により、受検者は自信をもって検定会に臨むことができていた。搬送種目や基礎種目では、やや不安要素も見られたが、今後はより確実なスキーな技術の修得と研修が必要である。学科試験では不合格となる受検者がおり残念な結果であった。不合格となった受検者には閉会式後、個別にその理由を説明し、来年度、再チャレンジの意思を確認した。受検者の検定に向けての意欲、そして努力には並々ならぬものが見られ、スキーパトロールとして、今後さらに自己研鑽と経験を積むことで、より確かな知識と技術を身に付け、安全・安心出来るスノースポーツのリーダーとして活躍してくれることを期待している。



○第2会場

- 【会期】 2019年3月8日(金)～10日(日)
 【会場】 長野県・一の瀬ダイヤモンドスキー場
 【本部宿舎】 ホテルこだま
 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬
 TEL 0269-34-3331 FAX 0269-34-2559
- 【責任者】 白石 博基
 【主任検定員】 田村 一司
 【現地総務】 川内 慎吾
 【検定員】 新井 和夫, 森山 直温, 保坂 淳司, 大月 照治
 帯川友紀子, 新村 昌宏, 前田 初志
- 【参加状況】 申込者 31, 受検者 29, 合格者 26, 不合格者 3, 合格率 83.9%
- 【日程】

第1日目	3月8日(金)
10:00	役員集合・検定会役員会議 (本部宿舎)
15:00～16:00	受検者受付
16:30	開会式 
17:00～18:30	理論試験
18:30	夕食
第2日目	3月9日(土)
07:00～07:30	朝のつどい 
07:30～08:00	朝食
09:30～11:30	実技テスト (搬送種目) 
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	実技テスト (基礎種目)

	
16:00～17:30	ロープ操法・救急法オリエンテーション
18:00～19:00	夕食
第3日目	3月10日(日)
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
09:00～11:00	実技テスト（ロープ操法・救急法テスト）
	
12:00～13:00	閉会式・合格発表・諸手続き
	

【所見】

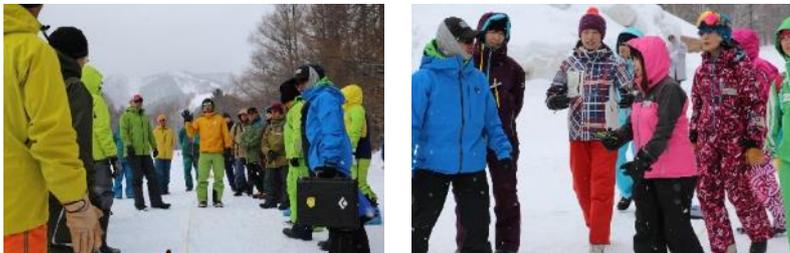
3月8日、本部宿舎において10時より役員ミーティングを行い午後から開会式後、理論検定を実施した。9日は一の瀬ダイヤモンドスキー場において雪上種目テストを行った。9:30～搬送種目、13:00～は基礎種目を実施した。15:00 雪上種目終了後、本部宿舎に移動しロープ・三角巾のオリエンテーションを実施した。10日は午前ロープ・三角巾テストを行い、12:00より閉会式・合格発表・諸手続きを行い終了した。

本部宿舎のホテルこだまをはじめ、一の瀬ダイヤモンドスキー場と長野県スキー連盟安全対策部の協力のもと、円滑に事業を進めることができました。受検者は年々減少傾向にあるが、パトロールの需要は高くなってきているので、今後とも各地域が連携してパトロールの受検者を増やしていきたい。



■全国スキーパトロール総会（公認スキーパトロール研修会東日本会場）

- 【 会 期 】 2019年3月16日(土)～3月17日(日)
- 【 会 場 】 北海道・富良野スキー場
- 【 本 部 】 富良野プリンスホテル
〒079-0034 北海道富良野市北の峰町 18-6 0167-22-1111
- 【 主 催 】 公益財団法人 全日本スキー連盟
- 【 主 管 】 公益財団法人 北海道スキー連盟
- 【 責 任 者 】 小林 英夫
- 【 研 修 会 役 員 】 主任講師:秋元 洋一
総会講師:山森 智文, 中澤 卓
研修会講師:山村 誠, 岡部 秀文, 沼澤 伯人, 相原 良憲, 田中 哲雄
- 【 総 務 】 影山 広美
- 【 日 程 】

前日	3月15日(金)
17:00～18:30	役員集合・役員ミーティング
19:00～20:00	夕食
第1日目	3月16日(土)
08:30～09:30	受付
09:30～10:00	開会式 
10:00～12:00	実技研修Ⅰ（雪上） ・ビーコン比較とプローブライントレーニング 
12:00～13:00	昼食
13:00～14:00	理論研修Ⅰ ・山岳スキーの基礎知識 クラスデータと実際のオペレーション（有元 崇浩） 
14:00～15:00	理論研修Ⅱ ・2018FIPS ロシア・ソチ報告（秋元 洋一）
15:00～16:00	・草津白根山噴火災害時のスキーパトロール活動状況（中澤 卓）
16:30～18:00	

	  <p>・スキー外傷とその予防（井上 雅之）</p>  
19:30～21:30	<p>情報交換会</p>    
第2日目	3月17日(日)
07:00～07:15	朝のつどい
07:30～08:30	朝食
09:00～12:00	<p>実技研修Ⅱ（雪上） 富良野スキー場ミレミアムゾーン（旧熊落としコース）のクラック形成や雪庇の観察</p>  
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	<p>実技研修Ⅲ（雪上） ・スキー技術「スキーパトロールに求められるスキー技術」</p>
15:00～	閉会式・解散



【所見】 参加者 69名

本研修会は、全国スキーパトロール総会との併催で実施された。

実技研修Ⅰは、雪崩ビーコンの特性とプローブライントレーニングについて、講師（有元崇浩氏及びビーコンメーカー社員）の説明及びデモンストレーションの後、ビーコン実機を用いて班ごとに性能比較を行った。

理論研修Ⅰでは、有元崇浩講師によるバックカントリースキーの基礎知識としてのクラスデータと実際のオペレーションに関する講義があり、バックカントリーについて理解を深めることができた。

理論研修Ⅱでは、始めに秋元洋一安全対策委員長より 2018FIPS 報告が行われ、次に、中澤卓講師（草津国際スキー場パトロール隊長）より、草津白根山噴火の際の救助活動について、緊迫した災害現場の状況とパトロール隊の救助活動の実際の報告があった。最後に、井上雅之講師（NTT 東日本札幌病院整形外科部長）より、スキー外傷とその予防について講演があり、スキーによる膝外傷の知識を深めることができた。

情報交換会では、全国各地で活動するパトロール相互の情報交換と親睦を深めることができた。

実技研修Ⅱでは、富良野スキー場プレミアムゾーン（旧熊落としコース）のクラック形成や雪庇の観察を通して、バックカントリースキーの実際について理解を深めることができた。

実技研修Ⅲでは、スキーパトロールに求められるスキー技術について班ごとに講習を行った。

最後に、北海道スキー連盟及び安全対策部、富良野スキー場、富良野プリンスホテルに感謝申し上げます。



■公認スキーパトロール研修会（西日本会場）

【 会 期 】 2019年3月2日（土）～2019年3月3日（日）

【 会 場 】 鳥取県・だいせんホワイトリゾート

【 本 部 】 ホテル大山しろがね
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山 136-2
TEL 0859-52-2211 FAX 0859-52-2260

【 主 催 】 公益財団法人全日本スキー連盟

【 主 管 】 公益財団法人全日本スキー連盟安全対策部

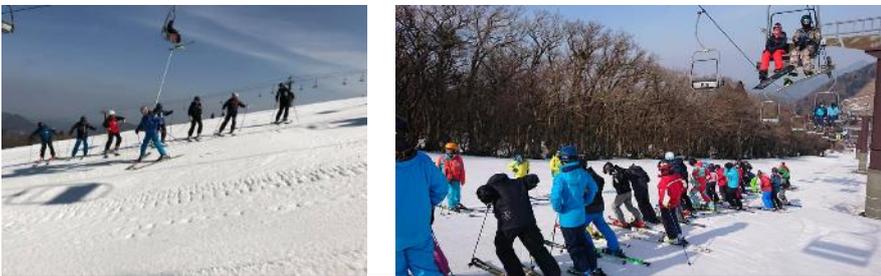
【 責 任 者 】 藤井 宣文

【研修会役員】 主任講師：米田 幸雄

総 務：持田 功一

講師：片岡 弘明，平川 朝水，青木 政明

【日程】

前日	3月1日(金)
17:00～18:30	役員集合 役員ミーティング
第1日目	3月2日(土)
07:30～08:30	受付
09:00～09:30	開会式 
10:00～12:00	実技研修1 (スキー技術・搬送技術) 
12:00～13:00	昼食
13:00～17:00	実技研修2・3 (ビーコン・バックボード) 
18:00～19:00	夕食・情報交換会
19:00～21:00	実技研修3 (ロープ・三角巾)
第2日目	3月3日(日)
07:00～07:30	朝のつどい
07:30～08:00	朝食
08:00～10:00	理論研修1 (雪崩対策)

	
10:00～12:00	理論研修 2 (心肺蘇生法) 
12:30～	閉会式・解散

【所見】参加者 58 名

本研修会は、スキーパトロール研修会（西日本会場）として計画され、西日本のみならず各地より 58 名の参加者を得て開催することが出来た。実技研修、理論研修によりスキーパトロールとして適切で迅速な対応について理解を深めることが出来た。スキー技術、搬送技術についてはデモンストレーションを実施して各班に分かれ実技研修を行った。雪上でのバックボード固定及びビーコン、プローブを使用するの雪崩埋没者救助の雪上研修を行った。情報交換会では各地のパトロールとの意見交換、情報共有が出来た。理論研修では雪崩の知識及び救急法（心肺蘇生法）の理論研修を行った。最後に鳥取県スキー連盟、だいせんホワイトリゾートスキー場及びパトロール隊ホテル大山しろがねに感謝申し上げ所見といたします。



加盟団体主管スキーパトロール研修会

事業管理番号	研修会名称	主管加盟団体	期 日	実施会場	参加者数
1-8-001	スキーパトロール研修会（教育本部会議【冬研】）	北海道	2018/11/23～ 2018/11/25	札幌国際スキー場	13
1-8-002	スキーパトロール研修会【全道：サホロ】	北海道	2019/1/26～ 2019/1/27	十勝サホロリゾートスキー場	29
1-8-003	スキーパトロール研修会 青森会場（理論）	青森県	2018/11/25	—	—
1-8-004	スキーパトロール研修会 青森会場（実技）	青森県	2018/12/23～ 2018/12/24	青森県・青森スプリング・スキーリゾート	58
1-8-005	スキーパトロール春山訓練（理論・実技）	青森県	2019/4/6～ 2019/4/7	青森県・八甲田山	14
1-8-006	スキーパトロール研修会 安比会場（理論・実技）	岩手県	2018/12/15～ 2018/12/16	岩手県・安比高原スキー場	18
1-8-007	スキーパトロール研修会 宮城会場（理論）	宮城県	2018/12/2	—	—
1-8-008	スキーパトロール研修会 宮城会場（実技）	宮城県	2018/12/15～ 2018/12/16	宮城県・みやぎ蔵王えぼしリゾート	11
1-8-009	スキーパトロール研修会 秋田会場（理論・実技）	秋田県	2018/12/22～ 2018/12/23	秋田県・たざわ湖スキー場	31
1-8-010	スキーパトロール研修会 蔵王会場（理論・実技）	山形県	2018/12/14～ 2018/12/16	山形県・蔵王温泉スキー場	16
1-8-011	スキーパトロール研修会 丸沼会場（理論・実技）	茨城県	2018/12/15～ 2018/12/16	群馬県・丸沼高原スキー場	7
1-8-012	スキーパトロール研修会 ハンター会場（理論・実技）	茨城県	2019/2/19～ 2019/2/20	栃木県・ハンターマウンテン塩原スキー場	0
1-8-013	スキーパトロール研修会 栃木会場（理論・実技）	栃木県	2019/2/19～ 2019/2/20	栃木県・ハンターマウンテン塩原スキー場	13
1-8-014	スキーパトロール研修会 戸倉会場（理論・実技）	群馬県	2019/2/5～ 2019/2/6	群馬県・尾瀬戸倉	20
1-8-015	スキーパトロール研修会 菅平会場（理論・実技）	東京都	2019/2/16～ 2019/2/17	長野県・菅平スキー場	20
1-8-016	スキーパトロール研修会 白馬五竜会場（理論・実技）	神奈川県	2019/1/19～ 2019/2/20	長野県・白馬五竜スキー場	9
1-8-017	スキーパトロール研修会 志賀高原会場（理論・実技）	長野県	2019/1/10～ 2019/1/11	長野県・一の瀬ダイヤモンドスキー場	15
1-8-018	スキーパトロール研修会 富山会場（理論・実技）	富山県	2019/4/20～ 2019/4/21	富山県・砺波青少年自然の家	40
1-8-019	スキーパトロール研修会 石川県会場（理論・実技）	石川県	2018/10/13～ 2018/10/14	石川県・安宅コミュニティセンター	38
1-8-020	スキーパトロール研修会 岐阜会場（理論・実技）	岐阜県	2019/1/26～ 2019/1/27	岐阜県・平湯温泉スキー場	52
1-8-021	スキーパトロール研修会 箱館山会場（理論・実技）	滋賀県	2019/2/2～ 2019/2/3	滋賀県・箱館山スキー場	12

研修会参加者総計 531 名

（SAJ 主管：東日本会場 57，西日本会場 58 名，加盟団体主管：416 名，2019/4/11 日現在）